

事後評価書（完了後の評価）

都道府県名	富山県	関係市町村	氷見市
-------	-----	-------	-----

事業名	水産物供給基盤整備事業（水産流通基盤整備事業）		
地区名	氷見	事業主体	富山県

I 基本事項

1. 地区概要

漁港名（種別）	氷見漁港（第3種）	漁場名	—
陸揚金額	1,083 百万円	陸揚量	3,459 トン
登録漁船隻数	101 隻	利用漁船隻数	113 隻
主な漁業種類	定置網、敷網、刺網	主な魚種	ぶり類、いか類、あじ類、さば類
漁業経営体数	76 経営体	組合員数	621 人
地区の特徴	氷見漁港は富山県の西北部に位置し、海底勾配が急峻で大陸棚が広く張り出している地形条件から沖合いに好漁場が形成されており、年間水揚量県内第一位で氷見市沿岸の中心的な陸揚げ拠点である。また、石川県からも陸送される県内最大の流通拠点漁港でもある。本漁港は、能登半島国定公園内にあり風向明媚な立地条件と併せて新鮮な魚を求め全国各地からの観光客が訪れており、海岸線沿いには民宿、旅館も多く立地する県内有数の滞在型観光地となっている。		

2. 事業概要

事業目的	流通拠点漁港として、護岸・防波堤改良、岸壁改良、漁港内道路改良等により漁業活動の効率化、高齢者にもやさしい就労環境の改善を図る。また、臨港道路の整備により水産物輸送の時間短縮、鮮度保持を図る。更に、親水護岸の整備により、住民と海とのふれあいの場、快適でうまいのある漁業地域の形成を図る。		
主要工事計画	親水護岸 L=110m, 親水護岸(パラペット)L=1,100m, 護岸(改良) L=322m, 防波堤(海水交換)N=2箇所, 北防波堤 L=324m, 岸壁(改良) L=311m, 岸壁(排水路改良)L=297m, 臨港道路L=500m, 道路(改良)L=900m, 道路(排水路改良)L=595m, 施設用地(C地区) A=3,100㎡, 排水路 L=60m		
事業費	1,299百万円	事業期間	平成14年度～平成24年度

II 点検項目

1. 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化

本事業では、事業採択時に費用対効果分析を実施していない。

2. 事業効果の発現状況

事業実施以前は、護岸・防波堤の整備が不十分で越波の影響があったことから、護岸背後の漁具干場の効率的な利用や防波堤背後水域での安全な係留等が困難であったが、本事業により効率的で安全な漁業活動が行えるようになった。また、親水護岸等の整備により地区住民の散策やイベント開催に利用され、さらに隣接する道の駅との相乗効果により来客数の増加に寄与しており、生活環境の向上、地域の活性化が図られている。さらに、臨港道路の整備により輸送時間が短縮され、水産物の輸送の効率化等が図られた。

3. 事業により整備された施設の管理状況

本事業により整備された施設は、漁港管理者である富山県が漁港漁場整備法第26条の規定に基づき定めた、富山県漁港管理条例に従い、適正に維持管理している。
--

4. 事業実施による環境の変化					
自然環境等への影響は、現在のところ確認されていない。					
5. 社会経済情勢の変化					
当該漁港における登録漁船隻数は平成19年には167隻であったが、漁業者の高齢化、集落人口の減少等により、平成29年には101隻に減少した。また、陸揚量も平成19年には6,010トンであったが、水産資源量の減少等により、平成29年には3,459トンに減少している。					
6. 今後の課題					
本事業で整備した漁港施設の効果を長期的に発現していくために、施設の長寿命化対策と計画的な維持管理が必要である。 漁業者の高齢化が進行しており、今後後継者確保や新規漁業者の受入を図り漁業を維持して行く必要がある。					
7. 事業の投資効果が十分見込まれたか					
平成	年評価時の 費用便益比B/C	—	現時点のB/C	1.23	※別紙「費用対効果分析集計表」のとおり

Ⅲ 総合評価

本事業は、流通拠点漁港として、また、都市との交流促進による地域活性化の図る上で重要な役割を担っている当地区において、漁業活動の効率化及び快適な漁業地域の活性化等を図るため、護岸・防波堤等の改良や親水護岸・臨港道路の整備を行った。

貨幣化が可能な効果について、費用対効果分析を行ったところ、1.0を超えており、経済効果についても確認されている。

以上の結果から、本事業は当地区において水産業の振興と地域活性化に寄与したものとなっており、想定した事業効果の発現が認められた。

費用対効果分析集計表

1 基本情報

都道府県名	富山県	地区名	氷見
事業名	水産流通基盤整備事業	施設の耐用年数	漁港施設：50年

2 評価項目

便益の評価項目及び便益額	評価項目		便益額（現在価値化）	
便益の評価項目及び便益額	水産物の生産性向上	①水産物生産コストの削減効果	2,668,281	千円
		②漁獲機会の増大効果		千円
		③漁獲可能資源の維持・培養効果		千円
		④漁獲物付加価値化の効果		千円
	漁業就労環境の向上	⑤漁業就業者の労働環境改善効果		千円
	生活環境の向上	⑥生活環境の改善効果	282,568	千円
	地域産業の活性化	⑦漁業外産業への効果	146,470	千円
	非常時・緊急時の対処	⑧生命・財産保全・防御効果		千円
		⑨避難・救助・災害対策効果		千円
	自然保全・文化の継承	⑩自然環境保全・修復効果		千円
		⑪景観改善効果		千円
		⑫地域文化保全・継承効果		千円
	その他	⑬施設利用者の利便性向上効果		千円
		⑭その他	16,813	千円
計（総便益額）		B	3,114,132	千円
総費用額（現在価値化）		C	2,526,560	千円
費用便益比		B/C	1.23	

3 事業効果のうち貨幣化が困難な効果

- ・外郭施設の整備により、航路・泊地の安全性が向上し、沖合で操業する県内外船の避難港としての利用促進が図られる。
- ・防波堤（海水交換）、道路（排水路改良）の整備により、就業環境が向上する。

水産流通基盤整備事業

氷見地区

事業概要図

【整理番号5】

事業主体: 富山県

主要工事計画:
親水護岸 L=110m
親水護岸(パラペット) L=1,100m
護岸(改良) L=322m
防波堤(海水交換) N=2箇所
北防波堤 L=324m
岸壁(改良) L=311m
岸壁(排水路改良) L=297m
臨港道路 L=500m
道路(改良) L=900m
道路(排水路改良) L=595m
施設用地(C地区) A=3,100m²
排水路 L=60m

事業費: 1,299百万円

事業期間: 平成14年度～平成24年度



氷見地区水産流通基盤整備事業の効用に関する説明資料

1. 事業概要

- (1) 事業目的：流通拠点漁港として、護岸・防波堤改良、岸壁改良、漁港内道路改良等により漁業活動の効率化、高齢者にもやさしい就労環境の改善を図る。また、臨港道路の整備により水産物輸送の時間短縮、鮮度保持を図る。更に、親水護岸の整備により、住民と海とのふれあいの場、快適でうおいのある漁業地域の形成を図る。
- (2) 主要工事計画：親水護岸L=110m、親水護岸（パラペット）L=1,100m、護岸（改良）L=322m、防波堤（海水交換）N=2箇所、北防波堤L=324m、岸壁（改良）L=311m、岸壁（排水路改良）L=297m、臨港道路L=500m、道路（改良）L=900m、道路（排水路改良）L=595m、施設用地（C地区）A=3,100m²、排水路L=60m
- (3) 事業費：1,299百万円
- (4) 工期：平成14年度～平成24年度

2. 総費用便益比の算定

(1) 総費用総便益比の総括

「水産基盤整備事業費用対効果分析ガイドライン」（平成31年4月改訂水産庁）及び同「参考資料」（平成31年4月改訂水産庁）等に基づき算定

区分	算定式	数値
総費用（現在価値化）	①	2,526,560（千円）
総便益額（現在価値化）	②	3,114,132（千円）
総費用総便益比	②÷①	1.23

(2) 総費用の総括

施設名	整備規模	事業費（千円）
防波堤（海水交換）	N= 2箇所	192,400
親水護岸	L= 110m	210,300
護岸（パラペット）	L= 1,100m	60,000
護岸（改良）	L= 322m	279,400
北防波堤	L= 324m	182,795
岸壁（改良）	L= 311m	22,000
岸壁（排水路改良）	L= 297m	38,000
臨港道路	L= 500m	143,000
道路（改良）	L= 900m	116,100
道路（排水路改良）	L= 595m	40,300
排水路	L= 60m	10,000
施設用地（C地区）	A= 3,100m ²	5,000
計		1,299,295
維持管理費等		22,880
総費用（消費税込）		1,322,175
内、消費税額		63,805
総費用（消費税抜）		1,258,370
現在価値化後の総費用		2,526,560

(3) 年間標準便益

効果項目	区分	年間標準便益額（千円）	効果の要因
水産物生産コストの削減効果		80,228	<ul style="list-style-type: none"> 臨港道路整備による水産物運搬時間の短縮 臨港道路整備による漁業者の通勤時間の短縮 施設用地舗装による漁具干し作業時間の短縮 施設用地舗装による漁具の耐用年数の延長 岸壁改良による漁船修理費の削減 北防波堤改良による操船時間の短縮 北防波堤改良による避難移動の解消 北防波堤改良による作業回避日の解消
生活環境の改善効果		9,371	<ul style="list-style-type: none"> 親水護岸整備によるレクリエーションの場の創出 臨港道路整備による一般車両の時間短縮
漁業外産業への効果		3,640	<ul style="list-style-type: none"> 臨港道路整備による漁港関係者の時間短縮 臨港道路整備による観光客の時間短縮
維持管理費の削減		470	<ul style="list-style-type: none"> 維持管理費削減
計		93,709	

(4) 費用及び便益の現在価値算定表

評価期間	年度	割引率 ①	デフレーター ②	費用 (千円)			便益 (千円)					
				事業費 (維持管理費含)	事業費 (税抜) ③	現在価値化 (維持管理費含) ①×②×③	水産物生産コストの削減効果	生活環境の改善効果	漁業外産業への効果	維持管理費削減	計 ④	現在価値 (千円) ①×④
-17	14	1.948	1.233	150,000	142,857	343,126					0	0
-16	15	1.873	1.259	239,000	227,619	536,750					0	0
-15	16	1.801	1.261	150,000	142,857	324,437	2,595	649	3,640		6,884	12,398
-14	17	1.732	1.260	30,000	28,571	62,351	2,595	649	3,640		6,884	11,923
-13	18	1.665	1.235	85,000	80,952	166,460	2,595	649	3,640		6,884	11,462
-12	19	1.601	1.246	114,393	108,946	217,330	2,595	649	3,640	470	7,354	11,774
-11	20	1.539	1.244	151,893	144,660	276,954	62,853	649	3,640	470	67,612	104,055
-10	21	1.48	1.167	140,393	133,708	230,935	62,853	649	3,640	470	67,612	100,066
-9	22	1.423	1.122	62,393	59,422	94,874	62,853	649	3,640	470	67,612	96,212
-8	23	1.369	1.163	103,393	98,470	156,779	62,853	649	3,640	470	67,612	92,561
-7	24	1.316	1.123	75,188	71,608	105,827	62,853	9,371	3,640	470	76,334	100,456
-6	25	1.265	1.127	393	374	533	80,228	9,371	3,640	470	93,709	118,542
-5	26	1.217	1.078	404	374	491	80,228	9,371	3,640	470	93,709	114,044
-4	27	1.17	1.060	404	374	464	80,228	9,371	3,640	470	93,709	109,640
-3	28	1.125	1.060	404	374	446	80,228	9,371	3,640	470	93,709	105,423
-2	29	1.082	1.032	404	374	418	80,228	9,371	3,640	470	93,709	101,393
-1	30	1.04	1.000	404	374	389	80,228	9,371	3,640	470	93,709	97,457
0	31	1	1.000	404	374	374	80,228	9,371	3,640	470	93,709	93,709
1	2	0.962	1.000	412	374	360	80,228	9,371	3,640	470	93,709	90,148
2	3	0.925	1.000	412	374	346	80,228	9,371	3,640	470	93,709	86,681
3	4	0.889	1.000	412	374	332	80,228	9,371	3,640	470	93,709	83,307
4	5	0.855	1.000	412	374	320	80,228	9,371	3,640	470	93,709	80,121
5	6	0.822	1.000	412	374	307	80,228	9,371	3,640	470	93,709	77,029
6	7	0.79	1.000	412	374	295	80,228	9,371	3,640	470	93,709	74,030
7	8	0.76	1.000	412	374	284	80,228	9,371	3,640	470	93,709	71,219
8	9	0.731	1.000	412	374	273	80,228	9,371	3,640	470	93,709	68,501
9	10	0.703	1.000	412	374	263	80,228	9,371	3,640	470	93,709	65,877
10	11	0.677	1.000	412	374	253	80,228	9,371	3,640	470	93,709	63,347
11	12	0.651	1.000	412	374	244	80,228	9,371	3,640	470	93,709	60,904
12	13	0.626	1.000	412	374	235	80,228	9,371	3,640	470	93,709	58,541
13	14	0.602	1.000	412	374	226	80,228	9,371	3,640	470	93,709	56,251
14	15	0.578	1.000	412	374	218	80,228	9,371	3,640	470	93,709	54,027
15	16	0.555	1.000	412	374	210	80,228	9,371	3,640	470	93,709	51,863
16	17	0.532	1.000	412	374	202	80,228	9,371	3,640	470	93,709	49,753
17	18	0.51	1.000	412	374	195	80,228	9,371	3,640	470	93,709	47,691
18	19	0.488	1.000	412	374	187	80,228	9,371	3,640	470	93,709	45,671
19	20	0.467	1.000	412	374	180	80,228	9,371	3,640	470	93,709	43,696
20	21	0.446	1.000	412	374	173	80,228	9,371	3,640	470	93,709	41,761
21	22	0.426	1.000	412	374	166	80,228	9,371	3,640	470	93,709	39,861
22	23	0.406	1.000	412	374	159	80,228	9,371	3,640	470	93,709	38,000
23	24	0.387	1.000	412	374	153	80,228	9,371	3,640	470	93,709	36,173
24	25	0.368	1.000	412	374	147	80,228	9,371	3,640	470	93,709	34,385
25	26	0.35	1.000	412	374	141	80,228	9,371	3,640	470	93,709	32,631
26	27	0.331	1.000	412	374	135	80,228	9,371	3,640	470	93,709	30,916
27	28	0.313	1.000	412	374	130	80,228	9,371	3,640	470	93,709	29,244
28	29	0.295	1.000	412	374	125	80,228	9,371	3,640	470	93,709	27,610
29	30	0.278	1.000	412	374	120	80,228	9,371	3,640	470	93,709	26,019
30	31	0.261	1.000	412	374	115	80,228	9,371	3,640	470	93,709	24,467
31	32	0.245	1.000	412	374	111	80,228	9,371	3,640	470	93,709	22,949
32	33	0.229	1.000	412	374	107	80,228	9,371	3,640	470	93,709	21,461
33	34	0.214	1.000	412	374	102	80,228	9,371	3,640	470	93,709	20,000
34	35	0.2	1.000	412	374	99	80,228	9,371	3,640	470	93,709	18,563
35	36	0.185	1.000	412	374	95	77,633	8,722		470	86,825	21,967
36	37	0.171	1.000	412	374	91	77,633	8,722		470	86,825	21,185
37	38	0.157	1.000	412	374	88	77,633	8,722		470	86,825	20,317
38	39	0.144	1.000	412	374	84	77,633	8,722			86,355	19,430
39	40	0.131	1.000	412	374	81	17,375	8,722			26,097	5,663
40	41	0.119	1.000	412	374	78	17,375	8,722			26,097	5,428
41	42	0.107	1.000	412	374	75	17,375	8,722			26,097	5,219
42	43	0.096	1.000	412	374	72	17,375	8,722			26,097	5,037
43	44	0.085	1.000	412	374	69	17,375				17,375	3,214
44	45	0.075	1.000								0	0
計				1,322,175	1,258,370	2,526,560	計					3,114,132

3. 効果額の算定方法

(1) 水産物生産コストの削減効果

1) 臨港道路整備による水産物運搬時間の短縮

区分		備考
①阿尾漁港からの運搬車両		
対象車両	①	8
年間利用日数	②	270
乗車人数	③	1
市街地通過時間（往復）（分）		
整備前	④	16
整備後	⑤	6
漁業者労務単価（円/時間）	⑥	1,954
漁業経営調査報告書（H29）		
H6～H13期間の投資額による按分比率		
H6～H15期間の投資額（千円）	⑦	4,162,000
実積		
計画期間の投資額（千円）	⑧	143,000
実積		
運搬時間短縮便益額（千円/年）		24
$① \times ② \times ③ \times (④ - ⑤) \times ⑥ \times (⑧ / ⑦) \div 1,000$		
②藪田漁港からの運搬車両		
対象車両	①	23
年間利用日数	②	270
乗車人数	③	1
市街地通過時間（分）		
整備前	④	16
整備後	⑤	6
漁業者労務単価（円/時間）	⑥	1,954
漁業経営調査報告書（H29）		
H6～H13期間の投資額による按分比率		
H6～H15期間の投資額（千円）	⑦	4,162,000
実積		
計画期間の投資額（千円）	⑧	143,000
実積		
運搬時間短縮便益額（千円/年）		69
$① \times ② \times ③ \times (④ - ⑤) \times ⑥ \times (⑧ / ⑦) \div 1,000$		
③宇波漁港からの運搬車両		
対象車両	①	14
年間利用日数	②	270
乗車人数	③	1
市街地通過時間（分）		
整備前	④	16
整備後	⑤	6
漁業者労務単価（円/時間）	⑥	1,954
漁業経営調査報告書（H28）		
H6～H13期間の投資額による按分比率		
H6～H15期間の投資額（千円）	⑦	4,162,000
実積		
計画期間の投資額（千円）	⑧	143,000
実積		
運搬時間短縮便益額（千円/年）		42
$① \times ② \times ③ \times (④ - ⑤) \times ⑥ \times (⑧ / ⑦) \div 1,000$		

④女良漁港からの運搬車両			
対象車両	①	11	調査日：令和元年10月31日 調査場所：氷見漁業協同組合 調査対象者：氷見漁業協同組合職員 調査実施者：富山県職員 調査実施方法：ヒアリング調査
年間利用日数	②	270	
乗車人数	③	1	
市街地通過時間（分）			
整備前	④	16	
整備後	⑤	6	
漁業者労務単価（円/時間）	⑥	1,954	
H6～H13期間の投資額による按分比率			
H6～H15期間の投資額（千円）	⑦	4,162,000	実績
計画期間の投資額（千円）	⑧	143,000	実績
運搬時間短縮便益額（千円/年）		33	$① \times ② \times ③ \times (④ - ⑤) \times ⑥ \times (⑧ / ⑦) \div 1,000$
⑤石川県能登方面からの運搬車両			
対象車両	①	16	調査日：令和元年10月31日 調査場所：氷見漁業協同組合 調査対象者：氷見漁業協同組合職員 調査実施者：富山県職員 調査実施方法：ヒアリング調査
年間利用日数	②	270	
乗車人数	③	1	
市街地通過時間（分）			
整備前	④	16	
整備後	⑤	6	
一般労務単価（円/時間）	⑥	1,989	
H6～H13期間の投資額による按分比率			
H6～H15期間の投資額（千円）	⑦	4,162,000	実績
計画期間の投資額（千円）	⑧	143,000	実績
運搬時間短縮便益額（千円/年）		49	$① \times ② \times ③ \times (④ - ⑤) \times ⑥ \times (⑧ / ⑦) \div 1,000$
総便益額（千円/年）		217	

2) 臨港道路整備による漁業者の通勤時間の短縮

区分		備考		
対象者	①	192	調査日：令和元年10月31日 調査場所：氷見漁業協同組合 調査対象者：氷見漁業協同組合職員 調査実施者：富山県職員 調査実施方法：ヒアリング調査	
操業日数	②	176		
市街地通過時間（分）				
整備前	③	16		
整備後	④	6		
漁業者労務単価（円/時間）		1,954		漁業経営調査報告書（H29）
H6～H13期間の投資額による按分比率				
H6～H15期間の投資額（千円）	⑤	4,162,000	実績	
計画期間の投資額（千円）	⑥	143,000	実績	
運搬時間短縮便益額（千円/年）		378	$① \times ② \times ③ \times (④ - ⑤) \times ⑥ \times (⑧ / ⑦) \div 1,000$	

3) 用地（漁具干場）舗装による漁網干し作業時間の短縮

区分		備考
年間運搬回数（回/年）		調査日：令和元年10月31日 調査場所：氷見漁業協同組合 調査対象者：氷見漁業協同組合職員 調査実施者：富山県職員 調査実施方法：ヒアリング調査
整備前	① 50	
整備後	② 50	
作業時間（時間/回）		
整備前	③ 7.00	
整備後	④ 4.00	
作業人数（人/経営体）		
経営体	⑤ 30	
漁業者労務単価（円/時間）		
⑥	6	
漁業者労務単価（円/時間）		⑦ 1,954
作業時間短縮便益額（千円/年）		52,758 $(①*③-②*④) \times ⑤ \times ⑥ \times ⑦ \div 1,000$

4) 用地（漁具干場）舗装による漁網の耐用年数の延長

区分		備考	
利用網数（統）		調査日：令和元年10月31日 調査場所：氷見漁業協同組合 調査対象者：氷見漁業協同組合職員 調査実施者：富山県職員 調査実施方法：ヒアリング調査	
整備前	① 1		
整備後	② 1		
耐用年数			
整備前	③ 15		
整備後	④ 20		
魚網価格（円/統）			
⑤	450,000,000		
魚網耐用年数延長便益額（千円/年）			7,500 $① * (1/③ - 1/④) \times ⑤ \div 1,000$

5) 岸壁衝突解消による漁船修理費の削減

区分		備考	
岸壁防舷材改良及び北防波堤改良による静穏度向上による岸壁衝突解消		調査日：令和元年10月31日 調査場所：氷見漁業協同組合 調査対象者：氷見漁業協同組合職員 調査実施者：富山県職員 調査実施方法：ヒアリング調査	
修理費（円/隻）	① 200,000		
損傷隻数（隻/年）			
整備前	② 10		
整備後	③ 0		
修理費削減便益額（千円/年）			2,000 $① * (② - ③) \div 1,000$

6) 北防波堤改良による出入港時間の短縮

区分		備考
出漁日数 (日/年)	① 176	調査日：令和元年10月31日 調査場所：氷見漁業協同組合 調査対象者：氷見漁業協同組合職員 調査実施者：富山県職員 調査実施方法：ヒアリング調査
出入港所要時間 (時間/回) 片道		
整備前	② 0.217	
整備後	③ 0.167	
乗船人数 (人/隻)	④ 3.46	
隻数 (隻)	⑤ 99	
漁業者労務単価 (円/時間)	⑥ 1,954	漁業経営調査報告書 (H29)
出入港時間削減便益額 (千円/年)	11,827	①* (②-③) *④*⑤*⑥÷1,000

7) 北防波堤改良による避難移動の解消

区分		備考
①係船中の漁船の避難移動作業		
対象漁船隻数 (隻)	① 5	調査日：令和元年10月31日 調査場所：氷見漁業協同組合 調査対象者：氷見漁業協同組合職員 調査実施者：富山県職員 調査実施方法：ヒアリング調査
高波浪日数 (日/年)		
整備前	② 16	
整備後	③ 6	
作業人数 (人/隻)	④ 3	
避難移動時間 (時間/隻)	⑤ 40	
解除時間 (時間/隻)	⑥ 40	
漁業者労務単価 (円/時間)	⑦ 1,954	漁業経営調査報告書 (H29)
避難移動作業解消便益額 (千円/年)	390	①* (②-③) *④* (⑤+⑥) *⑦÷1,000
②船揚場での作業中の漁船の避難移動作業		
利用漁船隻数 (隻)	① 12	調査日：令和元年10月31日 調査場所：氷見漁業協同組合 調査対象者：氷見漁業協同組合職員 調査実施者：富山県職員 調査実施方法：ヒアリング調査
高波浪日数 (日/年)		
整備前	② 16	
整備後	③ 6	
作業人数 (人/隻)	④ 3	
避難移動時間 (時間/隻)		
整備前	⑤ 70	
整備後	⑥ 70	
解除時間 (時間/隻)		
整備前	⑦ 70.00	
整備後	⑧ 70.00	
漁業者労務単価 (円/時間)	⑨ 1,954	漁業経営調査報告書 (H29)
避難移動作業解消便益額 (千円/年)	1,641	①* (②-③) *④* (⑤+⑦) *⑨÷1,000
総便益額 (千円/年)	2,031	

8) 北防波堤改良による作業回避の解消

区分		備考
利用漁船隻数 (隻)	① 12	調査日：令和元年10月31日 調査場所：氷見漁業協同組合 調査対象者：氷見漁業協同組合職員 調査実施者：富山県職員 調査実施方法：ヒアリング調査
高波浪日数 (日/年)		
整備前	② 16	
整備後	③ 6	
作業人数 (人/隻)	④ 3	
作業時間 (時間/隻)	⑤ 5	
漁業者労務単価 (円/時間)	⑥ 1,954	漁業経営調査報告書 (H29)
避難移動作業解消便益額 (千円/年)	3,517	①* (②-③) *④*⑤*⑥÷1,000
総便益額 (千円/年)	80,228	

(2) 生活環境の改善効果

1) レクリエーションの場の創出

区分		備考
①氷見市地区		
年間観光客数 (人/年)	① 729,620	氷見市資料
氷見市在住の割合 (%)	② 60	氷見市資料より推定
片道の移動時間 (時間/片道)	③ 0.25	
労働単価 (円/時間)	④ 1,688	毎月勤労者統計調査 (H29)
親水護岸及び漁港環境施設寄与率 (%)	⑤ 27.8	実績 (整備費比率)
対象施設の事業費 (千円)	⑥ 210,300	実績
対象施設分析期間以前事業費 (千円)	⑦ 5,741,000	実績
海岸環境整備事業費 (千円)	⑧ 250,000	実績
便益額 (千円/年)	3,489	$①*②* (③*2) *④*⑤*⑥/ ((⑥+⑦+⑧) \div 1,000)$
②高岡市地区		
年間観光客数 (人/年)	① 729,620	氷見市資料
高岡市在住の割合 (%)	② 30	氷見市資料より推定
片道の移動時間 (時間/片道)	③ 0.50	
労働単価 (円/時間)	④ 1688	毎月勤労者統計調査 (H29)
親水護岸及び漁港環境施設寄与率 (%)	⑤ 27.8	実績 (整備費比率)
対象施設の事業費 (千円)	⑥ 210,300	実績
対象施設分析期間以前事業費 (千円)	⑦ 5,741,000	実績
海岸環境整備事業費 (千円)	⑧ 250,000	実績
便益額 (千円/年)	3,489	$①*②* (③*2) *④*⑤*⑥/ ((⑥+⑦+⑧) \div 1,000)$
③小矢部市、砺波市地区		
年間観光客数 (人/年)	① 729,620	氷見市資料
小矢部・砺波市在住の割合 (%)	② 10	氷見市資料より推定
片道の移動時間 (時間/片道)	③ 0.75	
労働単価 (円/時間)	④ 1688	毎月勤労者統計調査 (H29)
親水護岸及び漁港環境施設寄与率 (%)	⑤ 27.8	実績 (整備費比率)
対象施設の事業費 (千円)	⑥ 210,300	実績
対象施設分析期間以前事業費 (千円)	⑦ 5,741,000	実績
海岸環境整備事業費 (千円)	⑧ 250,000	実績
便益額 (千円/年)	1,744	$①*②* (③*2) *④*⑤*⑥/ ((⑥+⑦+⑧) \div 1,000)$
総便益額 (千円/年)	8,722	

2) 臨港道路整備による一般車走行時間短縮

区分		備考
対象車両 (台/日)		
整備前	① 0	
整備後	② 463	
乗車人数 (人/台)	③ 1.3	
年間労働日数 (日/年)	④ 223	
短縮時間 (分)		
整備前	⑤ 0	
整備後	⑥ 5	
労務単価 (円/時間)	⑦ 1,688	毎月勤労者統計調査 (H29)
H6～H13期間の投資額による按分比率		
H6～H15期間の投資額 (千円)	⑧ 4,162,000	実績
計画期間の投資額 (千円)	⑨ 143,000	実績
走行時間短縮便益額 (千円/年)	649	$②*③*④* ((⑥-⑤) *⑦*⑧/⑨) \div 1,000$
総便益額 (千円/年)	9,371	

(3) 漁業外産業への効果

1) 臨港道路整備による走行時間短縮

区分			備考
①市場関係の仲買人等			
対象仲買人数 (人/日)	①	75	調査日：令和元年10月31日 調査場所：氷見漁業協同組合 調査対象者：氷見漁業協同組合職員 調査実施者：富山県職員 調査実施方法：ヒアリング調査
年間利用日数 (日/年)	②	270	
往復短縮時間 (分)			
整備前	③	0	
整備後	④	10	
労務単価 (円/時間)	⑤	2,025	
H6～H13期間の投資額による按分比率			
H6～H15期間の投資額 (千円)	⑥	4,162,000	
計画期間の投資額 (千円)	⑦	143,000	
走行時間短縮便益額 (千円/年)		234	
②市場関係の地元商店等			
対象商店人数 (人/日)	①	15	調査日：令和元年10月31日 調査場所：氷見漁業協同組合 調査対象者：氷見漁業協同組合職員 調査実施者：富山県職員 調査実施方法：ヒアリング調査
年間利用日数 (日/年)	②	270	
往復短縮時間 (分)			
整備前	③	0	
整備後	④	10	
労務単価 (円/時間)	⑤	2,025	
H6～H13期間の投資額による按分比率			
H6～H15期間の投資額 (千円)	⑥	4,162,000	
計画期間の投資額 (千円)	⑦	143,000	
走行時間短縮便益額 (千円/年)		46	
③漁協職員・役員等			
対象職員人数 (人/日)	①	6	調査日：令和元年10月31日 調査場所：氷見漁業協同組合 調査対象者：氷見漁業協同組合職員 調査実施者：富山県職員 調査実施方法：ヒアリング調査
年間利用日数 (日/年)	②	220	
往復短縮時間 (分)			
整備前	③	0	
整備後	④	10	
労務単価 (円/時間)	⑤	1,783	
H6～H13期間の投資額による按分比率			
H6～H15期間の投資額 (千円)	⑥	4,162,000	
計画期間の投資額 (千円)	⑦	143,000	
走行時間短縮便益額 (千円/年)		13	
④食堂等の労働者			
対象労働者人数 (人/日)	①	3	調査日：令和元年10月31日 調査場所：氷見漁業協同組合 調査対象者：氷見漁業協同組合職員 調査実施者：富山県職員 調査実施方法：ヒアリング調査
年間利用日数 (日/年)	②	270	
往復短縮時間 (分)			
整備前	③	0	
整備後	④	10	
労務単価 (円/時間)	⑤	1,249	
H6～H13期間の投資額による按分比率			
H6～H15期間の投資額 (千円)	⑥	4,162,000	
計画期間の投資額 (千円)	⑦	143,000	
走行時間短縮便益額 (千円/年)		5	

⑤出荷用保冷車等			
対象車両車数 (台/日)	①	7	調査日：令和元年10月31日 調査場所：氷見漁業協同組合 調査対象者：氷見漁業協同組合職員 調査実施者：富山県職員 調査実施方法：ヒアリング調査
年間利用日数 (日/年)	②	270	
乗車人数 (人/台)		1	
往復短縮時間 (分)	③		
整備前	④	0	
整備後	⑤	10	
労務単価 (円/時間)	⑥	2,025	毎月勤労統計調査H29 小売業
H6～H13期間の投資額による按分比率			
H6～H15期間の投資額 (千円)	⑦	4,162,000	実績
計画期間の投資額 (千円)	⑧	143,000	実績
走行時間短縮便益額 (千円/年)		21	$①*②*③* (⑤-④) \div 60*⑥*⑧/⑦ \div 1,000$
総便益額 (千円/年)		319	

2) 臨港道路整備による走行時間短縮

区分			備考
①団体観光バス等利用観光客			
対象車両台数 (台/年)	①	10,400	氷見市ヒアリング
乗車人数 (人/台)	②	35	
往復短縮時間 (分)			
整備前	③	0	
整備後	④	5	
労務単価 (円/時間)	⑤	1,688	毎月勤労者統計調査 (H29)
H6～H13期間の投資額による按分比率			
H6～H15期間の投資額 (千円)	⑥	4,162,000	実績
計画期間の投資額 (千円)	⑦	143,000	実績
走行時間短縮便益額 (千円/年)		1,759	$①*②* (④-③) \div 60*⑤*⑦/⑥$
②自家用車利用観光客			
対象車両台数 (台/年)	①	124,800	氷見市ヒアリング
乗車人数 (人/台)	②	2.5	
往復短縮時間 (分)			
整備前	③	0	
整備後	④	5	
労務単価 (円/時間)	⑤	1,688	毎月勤労者統計調査 (H29)
H6～H13期間の投資額による按分比率			
H6～H15期間の投資額 (千円)	⑥	4,162,000	実績
計画期間の投資額 (千円)	⑦	143,000	実績
走行時間短縮便益額 (千円/年)		1,508	$①*②* (④-③) \div 60*⑤*⑦/⑥$
③海鮮館参加業者の搬入車			
対象車両台数 (台/日)	①	13	毎月勤労者統計調査 (H29)
乗車人数 (人/台)	②	1	
年間利用日数 (日/年)	③	362	
往復短縮時間 (分)			
整備前	④	0	
整備後	⑤	10	
労務単価 (円/時間)	⑥	2,025	毎月勤労統計調査H29 小売業
H6～H13期間の投資額による按分比率			
H6～H15期間の投資額 (千円)	⑦	4,162,000	実績
計画期間の投資額 (千円)	⑧	143,000	実績
走行時間短縮便益額 (千円/年)		54	$①*②* (④-③) \div 60*⑤*⑦/⑥$
総便益額 (千円/年)		3,321	
総便益額 (千円/年)		3,640	

(4) 維持管理費の削減効果

区分		備考	
①泊地の維持浚渫費の削減			
浚渫費 (円/回)		県資料	
整備前	① 10,000,000		
整備後	② 0		
浚渫間隔 (年/回)			
整備前	③ 15		
整備後	④ 15		
排水路からの影響度 (%)	⑤ 30		
便益額 (千円/年)	200		(①-②) *1/④*⑤ ÷ 1,000
②水路の維持管理費の削減			
清掃費 (円/回)		県資料	
整備前	90,000		
整備後	90,000		
清掃間隔 (年/回)			
整備前	4		
整備後	1		
便益額 (千円/年)	270		①* (4-1) ÷ 1,000
総便益額 (千円/年)	470		
合計	93,709		